

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立飯能高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が簡潔かつ的確に示されている学校像である。学校を取り巻く環境や時代の変化を踏まえ、地域の人々から学校に寄せられる期待に十分応える、更に学校の特色や強みを生かした学校像を模索していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	伝統校に対する地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえて昨年度重点目標が見直された。「ステップアップクラス編成」の改善が行われるなど、目指す学校像の実現に向けて重点化された適切なものとなっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会の中に小委員会が組織され、システムシートが作成されている。学校全体で重点的に取り組んでいる具体的な方策と、その達成に向けた各組織の取組との連鎖が見えるように、分掌・学年・教科において、学校全体の重点目標に即した評価項目や具体的方策を設定するなど工夫すると更に良い。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体で取り組んでいる英語検定指導が成果を上げ、大学進学の実績向上につながるなど、評価項目の達成に向け、現状に基づいた効果的な方策が策定されている。昨年度に比べて方策の評価指標が数値などで具体化され、評価項目の達成度を判断する上で分かりやすいものとなっている。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が地域や学校の現状を踏まえた学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、課題の解決に向けて教職員が共通理解を深め、若手教員を中心とした学校内外の学び合い等を活用するなどして、組織力を更に高めていくことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	授業アンケートなどを実施し、結果を分析して学校自己評価のための情報が収集されている。今年度から実施する保護者アンケートの結果についても有効に活用するとともに、地域を中心とした卒業生の協力も得つつ、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			